

第11回電気学会栃木・群馬支所合同研究発表会

第233号

優秀論文発表賞を受賞

令和3年3月1～2日に第11回電気学会東京支部栃木・群馬支所合同研究発表会がオンラインで開催された。参加者は大学・高専などから2日間で104名、57件の論文発表が実施され、活発に質疑討論が行われた。57件の論文発表から10件の優秀論文発表賞が選出され、群馬大学からは7名が受賞した。いずれも論文内容、発表スライド、発表態度、質疑応答などが高く評価され受賞に至った。



曹さん



阿部さん



▲ 左から清水さん、小松さん、下山さん、関根さん、荻原さん

■博士後期課程1年 曹宇

「An Easy-to-Implement Self-Localization Algorithm using Nonlinear Observer-Based Fusion」

■博士前期課程2年 阿部 優大

「電流駆動IGBTゲートドライバ回路の検討」

■博士前期課程1年 小松 桂太

「パルスドップラレーダを用いたハンドドリル先端のリアルタイム検知」

■博士前期課程1年 清水 崇至

「電磁パルス加振による鉄筋振動計測のための直交検波パルスレーダの開発」

■電気電子コース4年 下山 凌弥

「空気清浄機と可動式サーキュレータによる花粉除去システムの数値シミュレーション」

■電気電子コース4年 関根 有希

「昇圧形ソフトスイッチング電源のEMI低減とリップル補正技術」

■電気電子コース4年 荻原 瑛司

「血液せん断応力測定装置に用いる能動型磁気軸受の支持力の評価」



発行

群馬大学理工学部庶務係

群馬県桐生市天神町一丁目5-1

郵便番号 376-8515

電話：0277 (30) 1895

FAX：0277 (30) 1020

<https://www.st.gunma-u.ac.jp>

E-mail: st-pr@stmu.gunma-u.ac.jp

編集責任者：天羽 雅昭

編集担当者：広報担当

紙面紹介

2面、3面、4面、5面、6面、7面

8面、9面、10面、11面、12面

13面、14面、15面、16面、17面

18面 受賞報告

本紙面には、令和4年1月31日までに提供されたニュースを掲載しております。

所属・学年は受賞当時のものです。

国際会議 IEEE14th ASICON 2021において

Excellent Student Paper Awardを受賞

博士前期課程1年 関根 有希

小林・桑名研究室所属の関根さんが、2021年10月26～29日の期間にオンライン・バーチャルで開催されたIEEE 14th International Conference on ASIC(ASICON2021)において口頭発表を行ない、Excellent Student Paper Awardを受賞した。ASICONは、IEEE(米国電気学会)および名門復旦大学主催の中国最大の集積回路関係の国際会議で、テーマはデバイス、アナログ回路、プロセッサ、メモリ、テスト、モデリング、設計ソフトウェアなど幅広くカバーしている。本会議は1994年から隔年で開催しており、今年は中国昆明市で開催される予定だったが、この状況下のため全てオンラインで開催された。この国際会議では世界中から多くの研究者を招聘してのキーノート講演・招待講演で先端技術情報を提供し、一般講演では大学院生が主体になり発表を行うことで、この分野の人材を育成してきている。今年も多くの論文発表があった。



関根さんの受賞論文は「電源電圧変換回路SEPICの排他的制御による多出力化」で、低い電源電圧からいくつもの高い電源電圧に効率的に小さい回路規模で変換する地球環境にやさしい電源回路を提案している。この研究は、群馬大学協力研究員の小堀康功先生のご指導をいただいた。この国際会議に群馬大学からは2件の招待講演発表(尹友先生、小林)、3件の口頭発表(桑名杏奈先生、魏江林さん、関根さん)、1件のポスター発表(重貴義さん)を行った。関根さんおよび発表した群馬大学学生諸君の電気電子工学分野での今後のますますの研鑽を期待します。またご協力をいただいた共同研究者の方々に感謝申し上げます。

(文責:電子情報部門 教授 小林春夫)

国際会議「Taiwan and Japan Conference
on Circuits and Systems 2021」において

Best Student Presentation Awardを受賞



▲ 荻原さん

博士前期課程2年 荻原 岳

博士前期課程2年 細野 貴司

博士前期課程1年 ネンワン レーンカン



▲ 細野さん



▲ レーンカンさん

小林・桑名研究室所属の荻原さん、細野さん、レーンカンさんが、令和3年11月20日にオンライン・バーチャルで開催された「Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems (Virtual TJCAS 2021)」において口頭発表を行ない、「Best Student Presentation Award」を受賞した。TJCASはIEEE(米国電気学会)主催で台湾と日本で毎年交互に開催される回路とシステム分野のアットホームな国際会議であり、今年はこの状況下のため全てオンラインで開催された。

3名の受賞論文は、それぞれ微小電流の測定技術、安定な基準電流源回路、高精度アナログデジタル変換回路に関するもので、いずれも半導体・エレクトロニクス関係の日本企業との共同研究成果である。今年に入ってから日本での半導体産業の重要性の一般報道が増えたが、その観点からもタイムリーな研究発表内容である。

この国際会議には群馬大学からは受賞の3人に加えて博士前期課程2年山本颯馬さん、董貴義さん、博士前期課程1年神尾崇文さん、山本修平さん、関根有希さんが発表し、いずれも良いプレゼンテーションだった。参加・発表した群馬大学学生諸君の電気電子工学分野での今後のますますの研鑽を期待する。またご指導・ご協力をいただいた、群馬大学協力研究員中谷隆之先生をはじめとします多くの共同研究者の方々に感謝申し上げます。

(文責:電子情報部門 教授 小林春夫)

電気学会東京支部

電気学術奨励賞・ 電気学術女性活動奨励賞を受賞

電気電子コース4年 山本 修平

電気電子コース4年



▲ 山本さん



▲ [redacted]さん

優秀な学業成績および国際学会・国内学会での発表が評価され、山本さんが電気学術奨励賞、[redacted]さんが電気学術女性活動奨励賞を受賞した。両賞ともに電気学会東京支部管内の学校に在籍する学部を卒業する電気学会学生会員の中から、電気工学を修めた優秀な学生に贈られる賞である。

IoT・エレクトロニクス・メカトロニクス関係の国際会議で

最優秀発表者賞を受賞

群馬大学高度人材育成センター
ポスドク研究員

Tran Minh Tri

Tran Minh Triさん(チャンミンチー, ベトナムからの留学生)が、オンライン開催されたIEEE (米国電気電子学会)主催の国際会議 IEMTRONICS 2021でBest Presenter Awardを受賞した。発表論文は、物理系システムの運動モデルでループゲインに基づく解析設計手法の限界を指摘し、新たに自己ループ関数に基づく解析設計手法を提案しその有効性を理論・シミュレーション・実験で検証した内容である。各国の大学・産業界から寄せられた各170件程度の発表のなかからカテゴリー別に出選され受賞した。さらに、これまでのいくつかの姉妹国際会議での発表・実績が認められ、他セッションの座長を務めている。

